

総合目録データベースの品質向上に向けて 今、図書目録作成現場でできること

目次

1. はじめに
2. 図書書誌レコード品質維持のためのガイドライン
3. おわりに

第1班

大綱 浩一 (京都大学)
菅野 朋子 (一橋大学)
竹下 啓行 (岡山大学)
渡邊 伸彦 (京都大学)

1. はじめに



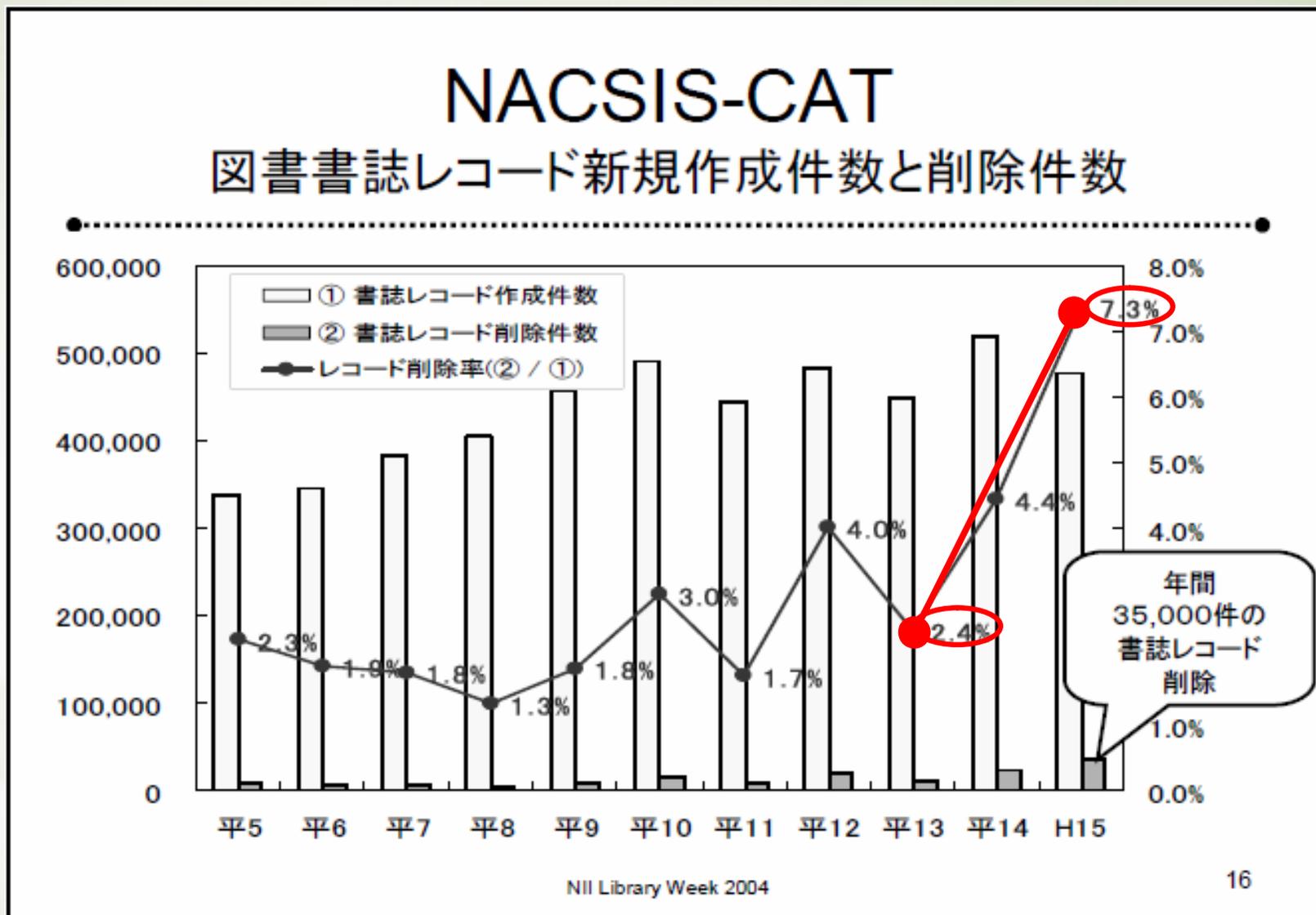
NACSIS-CAT/ILL の課題

- 図書書誌レコードの重複率の上昇に代表される総合目録の品質の劣化
- 雑誌所蔵レコードの未更新率の上昇
- ILL の謝絶率の上昇に見られるILL サービスの品質劣化 等

近年、NACSIS-CAT/ILL の「共同構築」、「学術情報資源の共有」という基本的な理念の衰退が疑われる現象が起きている。

「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告」より

レコード削除率が2年で2.4%から7.3%へ上昇



NII アクションプラン

- (1) NACSIS-CAT/ILL 運用ガイドライン
- (2) 外注のための仕様書モデルの提示
- (3) 研修の強化と資格・認定制度の提案
- (4) 図書書誌レコード調整方式の改善**
- (5) 雑誌所蔵更新への強制力
- (6) 図書館評価のための基礎的数値の開示

「書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト最終報告」より

目録作成現場から感じる問題点・課題

参加館内における意識・スキル・環境の差

- 安易に基準を満たさない不適切な書誌レコードを作成している参加館がある
- 安直な修正を行い、かえってレコード調整を発生させている参加館もある
- 記述に不明確な部分があっても相当数の参加館がレコード調整を行わないまま所蔵登録を繰り返したことにより、結果としてレコード調整の負担が増大してゆく傾向がある

「NACSIS-CAT レコード調整方式検討ワーキング・グループ報告書」より

第1班での演習内容

- そこで第1班では今、図書目録作成現場で図書書誌レコードの品質を維持するためにできることの、ガイドラインを提示すべく検討を行った
- 合わせて、明文化されてはいないが、図書書誌レコードの品質を維持するために図書目録作成現場で行われている工夫等についても、ガイドラインに盛り込むべく努めた

2. 図書書誌レコード品質維持のための ガイドライン

2-1. 検索

2-2. 書誌の同定

2-3. 書誌作成

2-4. 書誌修正

2-5. レコード調整

2-1. 検索

大原則：検索漏れののないよう、十二分に検索すること

- 該当書誌がヒットしない場合は、検索キーを変えて何度か検索する
- 例えば、まずはISBNで検索、ノーヒットの場合はタイトルや著者名等で検索する

オンライン・システム・ニュースレター No.26 p.2-6

- ISBNは必ずしも書誌に記入されているとは限らないため、ノーヒットの場合はタイトルや著者名等でも検索する
- タイトル等で検索する場合はストップワードやデリミタ、分かち書きやヨミのユレに注意する。例えば、ユレの少ない検索キーを用いる等

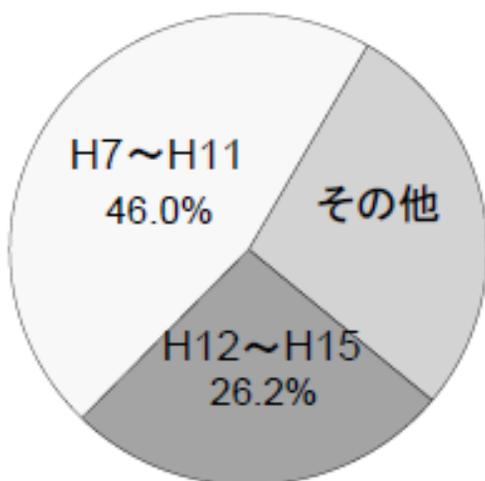
目録システム講習会テキスト図書編 p.47-48

ISBNでも検索していれば約2,000件の重複書誌の発生は防げた

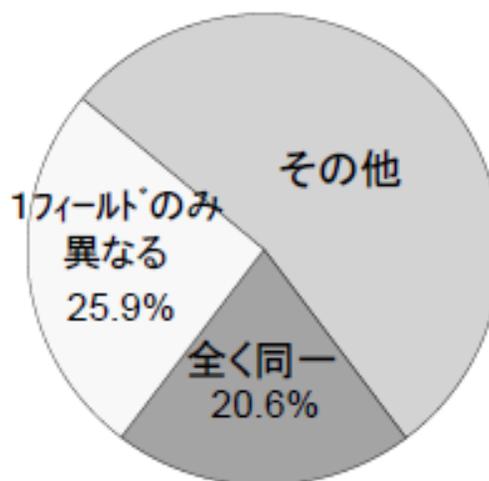
NACISIS-CAT 図書重複書誌レコード

- 平成15年度 NIIによる重複書誌処理分8,817件の分析

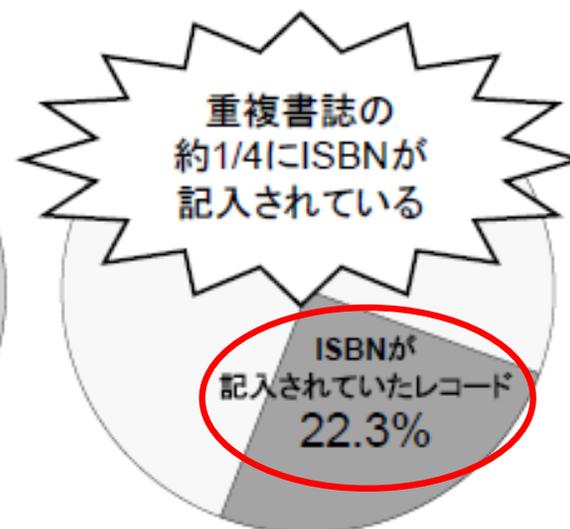
【重複書誌の作成年】



【レコード内容】



【ISBN記入状況】



2-2. 書誌の同定

大原則：新規レコード作成の指針に基づき慎重に同定すること

CM0.4「新規レコード作成の指針」

- 必ず書誌と現物を照らし合わせる
 - 該当書誌？ 本本当に同じか
異なる書誌に所蔵登録してはならない
 - 類似書誌？ 本本当に違うか
重複書誌を作成してはならない

書誌の同定の具体例

書誌は「萬葉」で、現物は「万葉」の場合、該当書誌か類似書誌か。

CM0.4「新規レコード作成の指針」を見ると、CM0.4.1B3.1”本タイトルの相違は、新規レコード作成の根拠となりうる。...しかし、次の理由だけでは、新規レコード作成の根拠とはならない。...5)文字種、字体等の相違”となっている。

「萬」と「万」は字体の相違にあたるため、それだけでは新規レコード作成の根拠とはならない。

したがって、この書誌は該当書誌であり、この書誌に所蔵登録することとなる。

書誌

<BN*****1>
GMD: SMD: YEAR:1963 CNTRY:ja TTLL:jpn
TXTL:jpn ORGL: VOL: ISBN: PRICE:1800円
TR: **萬葉語研究** / 佐伯梅友著||マンヨウゴケン
キュウ
PUB:東京:有朋堂, 1963.4
PHYS:13, 318, 45p; 22cm
AL:佐伯, 梅友(1899-)||サエキ, ウメトモ
<DA003125466>
CLS:NDC8:911.124

現物の標題紙

万葉語研究

佐伯梅友著

有朋堂

現物の奥付

万葉語研究

1963年4月1日第1刷発行

著者 佐伯梅友
発行所 有朋堂
東京都千代田区一ツ橋2-1-2

2-3. 書誌作成

大原則: 不適切な書誌を作成しないこと

- 作成前
 - 本当に該当書誌がないか、検索キーを変えて何度か検索する
- 作成時
 - 参照MARCを流用する時は、入力規則に合致するよう区切り記号や書誌階層等を修正する。各MARCの流用時の注意事項は次のとおり
 - JAPAN/MARC(オンライン・システム・ニュースレター No.39 p.10-14)
 - TRC /MARC(オンライン・システム・ニュースレター No.40 p.11-13)
 - LC /MARC(オンライン・システム・ニュースレター No.47 p. 6-10) ほか
 - タイプミス、変換ミス、必須項目の入力漏れをチェックする
 - 典拠ファイルとのリンクは可能な限り張る
- 作成後
 - 時間差で重複書誌となっていないか、必ず検索し確認する

2-4. 書誌修正

大原則：図書書誌レコード修正指針に基づき慎重に修正すること

CM21「図書書誌レコード修正」

- 入力規則に照らして誤りでない場合、原則として最初に作成された書誌を維持する
- 修正を行う必要がある時は必ず修正する
 - 明らかな誤りがある
 - 入力規則と合致しない
- 修正を行う時は図書書誌レコード修正 修正事項一覧を確認する
 - 「発見館修正可」の場合は、発見館で修正できる
 - 「作成館と協議」の場合は、必ず作成館と協議の上、修正する
 - 「所蔵館へ連絡」の場合は、必ず所蔵館へ報告する

書誌修正の具体例

「FAMILY INTERFACES ...」とすべて大文字になっている場合、どうすればよいか。

CM21.0「図書書誌レコード修正指針」をみると、CM21.0.A1“次の場合には、修正を行う必要がある。...2) データが基準や目録規則と合致しない”となっている

「FAMILY INTERFACES ...」は大文字使用法と合致していないため、修正を行う必要がある

さらにCM21.1「修正事項一覧」をみると、CM21.1.B TR(タイトル)“(3)転記の際の単純な記入ミスに対する修正”にあたるため、発見館で修正できる。また所蔵館への連絡は不要である

書誌

```
<BA*****2>
GMD: SMD: YEAR:1985 CNTRY:us TTLL:eng
TXTL:eng
VOL: ISBN: 0876303629 PRICE: XISBN:
TR: FAMILY INTERFACES :
TRANSGENERATIONAL PATTERNS / by
Jeannette R. Kramer
PLIB: New York : Brunner/Mazel, c1985
```

現物のタイトルページ

```
FAMILY INTERFACES :
TRANSGENERATIONAL
PATTERNS

by Jeannette R. Kramer
```

フィールド名	修正事項	発見館修正可	作成館と協議	所蔵館に連絡
TR(タイトル)	(3)転記の際の単純な記入ミスに対する修正			

2-5. レコード調整 ～その1～

大原則：「共同構築」の理念に基づき誠実に調整すること

- 調整依頼館（発見館）
 - 必要事項を漏れなく記入する
 - 必要な情報源を添付する
- 調整受付館（作成館）
 - 必ず数日中に何らかの回答する
 - 安直な修正は行わず，必ず調整内容と現物を確認する
 - 図書書誌レコード修正指針に基づき修正する

レコード調整用標準フォーマットの改善案

レコード調整用標準フォーマット【FAX・問合せ用】作成例
改題版(著作権からの許諾はなし)

レコード調整(FAX送信票) 記入例	問合せ
送信先 <===== 発信元 ○○○大学図書館●●●●係 TEL:999-9999-9999 FAX:999-9999-9999	△△△大学図書館▲▲▲▲係 担当 □□□□ TEL:000-0000-0000 FAX:000-0000-0000 E-mail: X X X @◆◆◆.ac.jp
送信枚数(この用紙含めて) 4 枚	送信日 2006 年 10 月 5 日
問合せ内容 <input type="checkbox"/> 判断 <input type="checkbox"/> 相談 <input type="checkbox"/> 修正 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> その他 ()	

相手館に望む対応を
チェックまたは記述する

問合せ内容: 判断 相談 修正 確認 その他()

upon Tyne, 27-31 August 2002

3. フィールド名:内容	PTBL
4. 問題点	書誌には PTBL がないが、当館所蔵分に「Studies in ancient medicine : v. 31」(副標題紙)の表記あり
5. 報 拠 (詳細)	<input type="checkbox"/> 手元資料 <input checked="" type="checkbox"/> コーディングマニュアル <input type="checkbox"/> 目録規則() <input type="checkbox"/> その他() 貴館所蔵分の当該部分をご確認ください。もし、記載されていないようでしたら、別書誌ということで、新規に作成いたします。 参考までに、当館所蔵分の情報源を添付いたします。
備考:ご確認頂き、折り返しご連絡ください。	
返信欄	

以上

どのような対応が求められているのか
不明な問合せを受けることがあるため

2.5 レコード調整 ～その2～

- 協議が不調に終わった場合は、原則として当該書誌レコードは現状のまま維持するものとする。ただし特に調整が必要な場合は、学術情報センターに対して調整を依頼することができる

CM21.0F2

- 重複書誌でないものを重複書誌として報告してしまわないよう、新規レコード作成の指針に基づき、確実に確認する

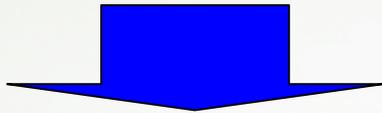
「ガイドライン」のまとめ

	大原則
検索	検索漏れのないよう、十二分に検索すること
書誌の同定	新規レコード作成の指針に基づき慎重に同定すること
書誌作成	不適切な書誌を作成しないこと
書誌修正	図書書誌レコード修正指針に基づき慎重に修正すること
レコード調整	「共同構築」の理念に基づき誠実に調整すること

3. おわりに

ガイドライン:

- 当たり前前のことを、当たり前前に行うということ



結局大切なことは、

- 総合目録DBの理念や、入力規則等を正しく理解する
- そのためにも目録システム講習会を受講する